

平成28年度

事業報告書

一般財団法人 日本交通安全教育普及協会

I 研修・教育活動

1. 交通安全教育指導者等養成活動

- (1) 交通安全教育指導者研修会の開催・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 2
- (2) チャイルドシート指導員養成研修会の開催・・・・・・・・・・・・・・・・ 2
- (3) スーパーアドバイザー養成研修の実施・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 3
- (4) 高校生向け自転車安全教育インストラクター認定及び更新講習会の開催・・・・・・・・ 4
- (5) 高等学校における自転車安全指導研修会の開催・・・・・・・・・・・・・・・・ 5
- (6) 二輪車(主として原付)通学許可校等の生徒指導担当者研修会の開催・・・・・・・・ 5
- (7) 交通ボランティア等ブロック講習会の開催・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 6

2. 交通安全教育指導者等支援活動

- (1) 学校における交通安全教育に関する協議会の開催・・・・・・・・・・・・・・・・ 7
- (2) 各種認定者との連携による地域交通安全モデル事業の実施・・・・・・・・・・・・ 8
- (3) 講師派遣の実施・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 8
- (4) 参加・体験・実践型交通ボランティア養成事業の実施・・・・・・・・・・・・・・ 8

3. 交通安全教育啓発活動

- (1) 児童及び高齢者を対象にした歩行者向け交通安全講習会の実施・・・・・・・・・・ 9
- (2) ドライバー向けセーフティーセミナーの開催・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 9
- (3) 自転車交通安全教育地域一体型プロジェクトの実施・・・・・・・・・・・・・・ 10
- (4) 自転車安全利用講習会の実施・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 10
- (5) 住民参加型の地域交通安全普及啓発モデル事業の実施・・・・・・・・・・・・・・ 11
- (6) 緊急時の対応に関する啓発活動の実施・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 11
- (7) 国際協力による教育普及活動の実施・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 11
- (8) 関係機関と連携した交通安全教育啓発活動の推進・・・・・・・・・・・・・・ 12

II 調査研究活動

- 1. 高齢者の自転車利用状況調査・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 12
- 2. 高齢者の自転車運転と体力及び認知・判断力との関係性調査・・・・・・・・・・・・ 13

III 情報収集提供活動

- 1. 月刊誌「交通安全教育」の編集・刊行・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 13
- 2. ホームページによる情報の発信及び収集・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 13

IV 教材の制作・普及事業

- 1. 交通安全教育啓発資料・機材の開発及び普及・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 13
- 2. 教育啓発資料の監修・指導等の実施・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 14

V 基本財産等運用事業・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 14

VI 会議の開催

- 1. 理事会・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 14
- 2. 評議員会・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 15
- 3. その他・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 15

I 研修・教育活動

交通安全教育の担い手である指導者等の養成と指導力・資質の向上を目的として研修・支援を行うとともに、子供や高齢者、一般市民等の交通参加者を対象に、交通安全意識の向上と安全な交通行動の実践化を図ることを目的として交通安全教育啓発活動を実施した。

1. 交通安全教育指導者等養成活動

(1) 交通安全教育指導者研修会の開催

交通安全教育に携わる行政担当者、交通指導員等を対象に、指導者としての資質向上を目的とした研修会を、内閣府の後援を得て開催した。

- ①日 時 【1日目研修】 平成29年1月30日(月) 13:00~17:00
【2日目研修】 平成29年1月31日(火) 9:00~16:00
- ②場 所 国立オリンピック記念青少年総合センター(東京都渋谷区)
- ③テ ー マ 「子供と高齢者に対する効果的な交通安全教育」
- ④内 容 【1日目研修】
- 講義1「子どもの交通安全教育 交通安全教育セミナー」
講師：交通安全教育アドバイザー 榎本 次郎氏
 - 講義2「眼から考える交通安全 ～高齢者の交通安全～」
講師：北里大学医療衛生学部視覚機能療法学専攻
准教授 川守田 拓志氏
 - 実践発表1「交通安全教育の新たな取組」
発表者：(一財)日本交通安全教育普及協会
- 【2日目研修】
- 講義3「コーチングメソッドによる交通安全教育」
講師：(株)ムジコ・クリエイト東京営業所 所長 野藤 智氏
 - 実践発表2「子どもに対する交通安全指導」
発表者：いわき市交通安全対策協議会 交通指導員
鈴木 淳子氏 小野 澄江氏
 - 実践発表3「高齢者に対する交通安全指導」
発表者：新潟県聖籠町 専門交通安全指導員
新保 イミ子氏 齋藤 奈美氏
 - 班別協議・発表
- ⑤参加者 102名

(2) チャイルドシート指導員養成研修会の開催

チャイルドシートの正しい知識の定着と使用の促進を目的として、チャイルドシートに関する法的・技術的知識、正しい装着方法など専門的知識を修得した指導者を養成するための研修会を、内閣府、警察庁及び国土交通省の後援を得て、5会場で開催した。

- ①会 場 【青森会場】平成28年8月26日(金) 9:00~16:35
八戸市公民館 30名
平成28年8月29日(月) 9:50~16:35
弘前市民会館 23名
平成28年8月31日(水) 9:50~16:35
ねぶたの家 ワ・ラッセ 27名

【東京会場】平成29年2月28日(月)9:50~16:50

国立オリンピック記念青少年総合センター 54名

平成29年3月1日(火)9:50~16:50

国立オリンピック記念青少年総合センター 54名

- ②内 容
- チャイルドシートと幼児について(医学的見地から)
 - 道路交通法について(チャイルドシートの使用義務)
 - チャイルドシートの技術基準
 - チャイルドシートの基礎知識
 - チャイルドシート取付け実習

(3) スーパーアドバイザー養成研修の実施

自動車教習所指導員を対象に、交通安全教育を実施できる企画力と教育能力を備えた人材の養成を目的としたスーパーアドバイザー養成研修(延べ5日間)を実施した。

①研 修 日 **【集合研修】**

第12期:平成28年5月30日(月)~6月1日(水)(3日間)

【フォローアップ研修】

第12期:平成28年10月11日(火)~12日(水)(2日間)

②場 所 (一財)日本交通安全教育普及協会 会議室(東京都港区)

③内 容 **【集合研修】**

- 講話「交通行政の概略」
 - 教育技術指導1「人間行動と動機づけ」「リーダーシップの基本」
「地域の交通安全センターになるために」
 - 実習1(グループ討議・全体討議)「ヒヤリハット実例と原因・対策」
 - 応用1(グループ討議)「能力向上のために学んだこと」
 - 教育技術指導2「プレゼンテーションの仕方」
 - 実習2(グループ討議)「教習所と自分の現状分析と課題」
 - 応用2(グループ討議)「交通安全センターの果たすべき役割」
- 【フォローアップ研修】**
- 講義1「フォローアップ研修の意義と位置づけ」
 - 講義2「KJ法」の進め方
 - 実習(グループ討議・全体討議)「地域の交通安全センターになるために」
 - 講義3「期待される交通安全教育指導員とは」
 - 全体総括「個人別決意表明・講評」

④講 師 千葉大学 名誉教授 鈴木 春男氏
(株)クレド 代表取締役 吉永 恵一氏
(一財)日本交通安全教育普及協会

⑤参 加 者 20名(最終修了者 20名)

(4) 高校生向け自転車安全教育インストラクター認定及び更新講習会の開催

自動車教習所指導員を対象に、高等学校の自転車安全教育の充実に寄与することを目的として、高校生に対する自転車安全教育における効果的な手法や知識を習得したインストラクター養成のための講習会を開催した。

受講後、一定の要件を満たした者には、当協会から「高校生向け自転車安全教育インストラクター」認定証を交付するとともに、1事業所に3名以上の認定者がいる事業所については、適正な活動を行う旨の誓約書の提出をもって「高校生向け自転車安全教育団体」として認定をした。

また、平成26年度認定者を対象に、認定者のレベルアップを図ることを目的とした認定更新講習会を2日間の日程で開催した。

【認定講習会】

- ①日 時 【1日目講習】平成28年10月11日(火) 10:00~18:00
【2日目講習】平成28年10月12日(水) 9:00~16:00
- ②場 所 大阪都島自動車学校(大阪府都島区)
- ③内 容 【1日目講習】
- 講義1「高等学校における交通安全教育の現状と進め方について」
講師:(一財)日本交通安全教育普及協会
 - 講義2 ①「自己理解を促すためのディスカッション手法1」
②「屋外で実施する自転車教育の手法等について」
③「ディスカッション(屋内)及び自転車実技(屋外)の指導案作成について」
講師:(株)ムジコ・クリエイト東京営業所 所長 野藤 智氏
 - 講義3「自転車の交通ルールについて」
講師:(一財)日本交通安全教育普及協会
- 【2日目講習】
- 講義4「自己理解を促すためのディスカッション手法2」
講師:東北工業大学 教授 小川 和久氏
 - 協議「ディスカッション(屋内)及び自転車実技(屋外)の指導案作成」
「実演リハーサル」
 - 実演「ディスカッション」、「自転車実技(事故再現と正しい走行等)」
 - 筆記テスト
- ④参加者 24名

【更新講習会】

- ①日 時 平成28年11月28日(月)~29日(火)
- ②場 所 国立オリンピック記念青少年総合センター(東京都渋谷区)
- ③内 容 ○講義1「教育現場における指導について」
講師:(一財)日本交通安全教育普及協会
- 講義2「アイズブレークの実践」
 - 講義3「傾聴の技法について」
 - 講義4「オープンクエスションの技法について」
講師:(株)ムジコ・クリエイト東京営業所 所長 野藤 智氏

○講義 5 「自転車の安全利用に係る改正道路交通法について」

講師：(一財) 日本交通安全教育普及協会

○協議「実践を想定した展開案及びシナリオ案作成」

○実演「ディスカッション」

④参加者 21名

(5) 高等学校における自転車安全指導研修会の開催

(一社) 日本自動車工業会からの委託を受けて、高等学校における自転車教育を自動車との安全な共存を目指したプレドライバー教育として位置付け、地域連携型の高校生向け自転車交通安全教育を推進することを目的に、兵庫県において自動車教習所指導員を対象に、高校生に対する効果的な自転車安全教育の手法と知識を習得するための研修会を実施した。

また、高等学校等の交通安全指導担当教員を対象とした、講義や実技、研究協議を内容とする研修会もモデル地域内で開催した。

【地域の自動車教習所指導員対象の研修会】

①会場 相生自動車教習所（兵庫県西播磨地区）

平成 28 年 10 月 24 日（月）9：30～16：30

②参加者 11 校 34 名

③内容 【午前】

講義 1 「高校における交通安全教育の現状と進め方」

講義 2 「アクティブラーニング手法を用いたグループディスカッション」

実技 「屋外で実施する自転車教育技法」

【午後】

○教員向け研修会の実技サポート

○教員向け研修会における研究協議への同席

④講師 (一財) 日本交通安全教育普及協会

【高等学校教員対象の研修会】

①会場 相生自動車教習所（兵庫県西播磨地区）

平成 28 年 10 月 24 日（月）13:00～16：30

②参加者 32 校 32 名

③内容 講義 1 「自動車と共存できる自転車の安全な通行の仕方

～高校生を自転車事故から守るための指導～」

実技 「信号機のない交差点での事故再現」、「信号機のある交差点で起こる事故再現」、「ヘッドフォン使用の危険性の実験」、「駐停車車両の側方通行で起こる事故再現」

研究協議 「自転車交通安全教育の進め方」

④講師 (一財) 日本交通安全教育普及協会・西播磨地区の自動車教習所

(6) 二輪車（主として原付）通学許可校等の生徒指導担当者研修会の開催

(一社) 日本二輪車普及安全協会からの委託を受けて、バイク通学を許可している高等学校の教員等を対象に、高校生の二輪車事故の減少に貢献することを目的として、講義、原付実技体験、事故再現、研究協議を内容とする研修会を 4 会場で開催した。

- ①会 場 【大分県】平成28年6月24日(金)9:40~16:25
大分県自動車学校 参加21校 22名
【宮城県】平成28年6月27日(月)9:40~16:25
奥羽自動車学校 参加15校 15名
【岡山県】平成28年10月5日(水)9:40~16:25
津山自動車学校 参加17校 19名
【鹿児島県】平成28年11月10日(木)9:40~16:25
マジオドライバーズスクール鹿児島校 参加17校 18名
- ②内 容 ○講義「高校生を取り巻く交通環境について」
○実技「ブレーキング、コーナリング、低速バランス」等
○研究協議「二輪車実技教育の在り方」等
- ③講 師 (一財)日本交通安全教育普及協会、自動車教習所指導員

(7) 交通ボランティア等ブロック講習会の開催

内閣府からの委託を受けて、地域の交通ボランティアや交通指導員等を対象に、地域の交通ボランティア等の交通安全に対する意識の高揚及び資質の向上を図り、地域社会全体の交通安全の確保を図ることを目的として、主に子供と高齢者の交通安全をテーマにした講演や各地の活動事例発表、班別協議等を内容とする講習会をブロック別に開催した。

①北海道ブロック

- 開催日 平成28年10月13日(木)~14日(金)
会 場 アパホテル帯広駅前(北海道帯広市)
講 演 ○講演1「自転車の事故防止のために」
講師:(一財)日本交通安全教育普及協会
○講演2「交通安全のなかの「気づき」から「支え合い」の実現へ」
講師:安全教育研究所 所長 星 忠通氏
- 参加者 1日目53名、2日目45名

②東北ブロック

- 開催日 平成28年9月15日(木)~16日(金)
会 場 ホテルルイズ(岩手県盛岡市)
講 演 ○講演1「これからの子どもの交通安全教育と指導者」
講師:安全教育研究所 所長 星 忠通氏
○講演2「高齢者に対する交通安全の動機づけ」
講師:千葉大学 名誉教授 鈴木 春男氏
- 参加者 1日目67名、2日目38名

③関東・甲信越ブロック

- 開催日 平成28年10月24日(月)~25日(火)
会 場 ホテルラシーネ新前橋(群馬県前橋市)
講 演 ○講演1「子どもの交通安全教育」
講師:NPO法人 日本こどもの安全教育総合研究所
理事長 宮田 美恵子氏
○講演2「自転車の事故防止のために」
講師:(一財)日本交通安全教育普及協会

参加者 1日目41名、2日目32名

④東海・北陸ブロック

開催日 平成28年9月8日(木)～9日(金)

会場 ホテル グリーンパーク津(三重県津市)

講演 ○講演1「自転車の事故防止のために」

講師：(一財)日本交通安全教育普及協会

○講演2「これからの子どもの交通安全教育と指導者」

講師：安全教育研究所 所長 星 忠通氏

参加者 1日目52名、2日目50名

⑤近畿ブロック

開催日 平成28年11月8日(火)～9日(水)

会場 ダイワロイネットホテル和歌山(和歌山県和歌山市)

講演 ○講演1「高齢者に対する交通安全の動機づけ」

講師：千葉大学 名誉教授 鈴木 春男氏

○講演2「幼児の交通安全の指導法『なぜを考える』交通安全指導法への開発」

講師：目白大学 こども学科・児童学科 非常勤講師 宇田川 光雄氏

参加者 1日目62名、2日目55名

⑥中国・四国ブロック

開催日 平成28年9月29日(木)～30日(金)

会場 ホテル JAL シティ松山(愛媛県松山市)

講演 ○講演1「交通安全指導に必要な実践的スキル」

講師：(株)ビジネスファーム 代表取締役 藤原 徳子氏

○講演2「歩行者・自転車・交通弱者の視点から見てきた交通安全の意味」

講師：地球の友・金沢 三国 成子氏

参加者 1日目48名、2日目50名

⑦九州ブロック

開催日 平成28年10月20日(木)～21日(金)

会場 ホテルレガロ福岡(福岡県福岡市)

講演 ○講演1「飲酒運転撲滅と交通安全」

講師：福岡県飲酒運転撲滅活動アドバイザー 大江 久則氏

○講演2「高齢者に対する交通安全活動のポイント」

講師：九州大学大学院 教授 志堂寺 和則氏

参加者 1日目82名、2日目82名

2. 交通安全教育指導者等支援活動

(1) 学校における交通安全教育に関する協議会の開催

都道府県教育委員会の交通安全教育担当者等を対象に、今後の安全教育の方向性を探り、その成果の普及を図ることを目的として、文部科学省の後援を得て、講義及び子供の交通事故実態等を踏まえた重要課題についての協議、意見・情報交換等を内容とする協議会を全国2ブロックで開催した。

- ①ブロック 【大阪会場】平成28年6月28日(火)13:00～16:30
サムティフェイム新大阪(大阪府大阪市) 7名

【東京会場】平成 28 年 7 月 8 日（金）13：00～16：30

（一財）日本交通安全教育普及協会 会議室（東京都港区） 7 名

- ②内 容
- 講義と質疑応答「文部科学省における学校安全教育の方針」
講師：文部科学省 初等中等教育局 健康教育・食育課
安全教育調査官 吉門 直子氏
 - 協議「学校における交通安全教育の充実」
～自転車や通学路等における効果的な交通安全教育について～
 - 意見・情報交換

(2) 各種認定者との連携による地域交通安全モデル事業の実施

当協会の各種認定(スーパーアドバイザー、高校生向け自転車安全教育インストラクター)を受けた自動車教習所指導員及び自動車教習所の実践力を高め、地域の交通安全に貢献することを目的として、地域密着型の交通安全モデル事業を 3 県 5 か所で実施した。

(3) 講師派遣の実施

自治体や関係機関・団体等からの要請により、児童・生徒や高齢者、自転車の交通安全をテーマにした講習会の講師として職員を派遣した。

(4) 参加・体験・実践型交通ボランティア養成事業の実施

内閣府からの委託を受けて、地域の交通ボランティア等の資質の向上を図るとともに、地域における自主的な交通安全活動を推進することを目的に、地方公共団体から提案された参加・体験・実践型のプログラムを実施した。

①長野県塩尻市会場

事業名	地域みんなの交通安全教室 in 塩尻
日時	平成 28 年 11 月 23 日（水）13：00～16：00
会場	中南信運転免許センター
参加者	交通安全リーダー参加者（57 名） 塩尻市の住民等（91 名）計 148 名
内容	自転車ルール説明、オープニング、交通安全体験車、自転車シミュレータ、歩行シミュレータ「わたりジョーズ君」、白バイ・パトカー展示、シートベルトコンビンサー・こども安全免許証、飲酒ゴーグル、反射材効果実験、セニアカー体験、スケアードストレイト見学

②奈良県天理市会場

事業名	命の大切さを学ぶ交通安全教室 in 二階堂高校
日時	平成 28 年 11 月 21 日（月）9：00～12：40
会場	奈良県立二階堂高等学校
参加者	生徒 600 名
内容	開会、自転車シミュレータ体験、クイックアーム体験、シートベルトコンビンサー体験、スケアードストレイト見学

3. 交通安全教育啓発活動

(1) 児童及び高齢者を対象にした歩行者向け交通安全講習会の実施

東京都からの委託を受けて、児童とその保護者、及び高齢者を対象に「歩行者向けの交通安全危険予測シミュレータ」を活用した講習会や啓発イベントを実施した。

①小学生向け（実施回数 72 回 都内の小学校 72 校 参加者数 7,378 人）

プログラム ○交通安全クイズ（信号の意味、飛び出しの危険）
○歩行シミュレータ実技体験（横断歩道等の渡り方、危険予測学習）

講師 （一財）日本交通安全教育普及協会 等

②高齢者向け（実施回数 37 回 参加者数 1,874 人）

プログラム ○認知・判断力診断
○歩行シミュレータ実技体験（道路の横断の仕方、危険予測学習）

講師 （一財）日本交通安全教育普及協会 等

③啓発イベント（実施回数 11 回 参加者数 3,697 人）

プログラム ○歩行シミュレータ実技体験（対象者に合わせてコース選定）

指導者 （一財）日本交通安全教育普及協会 等

(2) ドライバー向けセーフティーセミナーの開催

主に子供を持つ保護者を対象として、家族ぐるみの交通安全意識の向上を図るためのドライバー向け参加・体験型セミナー「家族を守ろう！セーフティーセミナー」を開催地の自動車教習所と(株)ブリヂストンとの共催の下に開催した。

また、一部会場においては、親子で参加できるセミナーとし、子供向けに自転車の交通安全教室を開催した。

①会場

開催日	開催会場	人数
6/ 5(日)	長岡文化自動車学校(新潟) ※親子教室で開催	40名
7/24(日)	青森モータースクール(青森県)	26名
9/25(日)	寒河江自動車学校(山形県)	34名
9/30(金)	武庫川自動車学園(兵庫県)	35名
10/23(日)	マジオドライバースクール大垣校(岐阜県)	32名
10/30(日)	山陽自動車学校(広島県)	38名
11/ 6(日)	マジオドライバースクール春日井校(愛知県)	30名
11/12(土)	マジオドライバースクール鹿児島校(鹿児島県)	39名
11/21(月)	ファインモータースクール(埼玉県)	38名
11/27(日)	あたご自動車学校(長崎県)	36名
合計		348名

②内容 【座学】 講話「タイヤの重要性について」

【実技】 「タイヤ点検」、「ブレーキ体験」、「空気圧比較体験」、「運転姿勢」、「発炎筒点火体験」、「シートベルトの効果体験」、「自転車シミュレータ」、「自転車基礎トレーニング」、「自転車の正しい乗り方」等

③講師 （一財）日本交通安全教育普及協会、ブリヂストン、開催自動車教習所

(3) 自転車交通安全教育地域一体型プロジェクトの実施

地域を核とした主として子供(幼稚園児、小学生)への自転車交通安全教育の展開と体制の確立を目的として、地域の関係機関、地区リーダー、ブリヂストンサイクル(株)等の協力・支援の下、参加・体験型の自転車交通安全教育モデル事業を埼玉県内8か所で実施するとともに、新たな取り組みとして、児童に対して日常的な指導者としての役割が期待される保護者への交通安全啓発、ならびに指導力の向上を目指し、親子自転車交通安全教室を埼玉県内1か所で開催した。

また、自転車交通安全教育推進委員会(埼玉県内の小学校教員及び地区リーダー、交通指導員で構成)からの助言をもとに、家庭において、保護者が交通安全教育に関心を持ち、簡単な指導を行えるよう「保護者向け交通安全啓発パンフレット」を作成した。

① 自転車教室

会 場

【幼稚園】

平成28年 6月15日(水) 普門院幼稚園 年長園児 130名

平成28年 7月 1日(金) 大成幼稚園 年長園児 58名

【小学校】

平成28年 5月17日(火) さいたま市立上里小学校 3年生 73名

平成28年 6月18日(土) さいたま市立大成小学校 3年生 41名 ※親子教室併催

平成28年 6月23日(木) さいたま市立日進北小学校 1・3年生 263名

平成28年 9月 1日(木) 上尾市立平方北小学校 3・4年生 84名

平成28年10月 6日(木) 上尾市立平方小学校 3・4年生 134名

平成28年10月21日(金) 上尾市立大石南小学校 3・4年生 109名

【親子自転車交通安全教室】

平成28年 6月18日(土) さいたま市立大成小学校 2年生・保護者 11組

内 容

【幼稚園】

「腹話術」、「パネルシアター」、「自転車の発進・停止」、「信号の意味」等

【小学校】

「点検・乗車姿勢」、「ヘルメットの着用方法」、「基本走行(信号のある交差点、信号のない交差点、駐車車両の側方走行)」等

【親子自転車交通安全教室】

「点検・乗車姿勢」、「ヘルメットの着用方法」、

(保護者向け)自転車のルールと指導方法、(児童向け)ブレーキングと狭路走行、

(指導実践)実技・基本走行(信号交差点・信号のない交差点・駐車車両の側方走行)等

② 小学校自転車交通安全教育推進(調査)委員会

平成28年11月29日(火) 会 場: 市民会館うらわ

検討事項: 保護者向け交通安全啓発パンフレットの内容検討

(4) 自転車安全利用講習会の実施

東京都武蔵野市からの委託を受けて、一般市民を対象に、自転車事故の発生状況や安全な乗り方等についての講義を内容とする自転車の安全利用のための講習会を実施した。

平成28年度は、合計42回、5,613名が受講し、講習会終了後に自転車安全利用認定証の交付、TSマーク助成券及び反射材の交付等を行った。

(5) 住民参加型の地域交通安全普及啓発モデル事業の実施

地域における効果的な交通安全普及啓発活動の確立と普及を目指し、大塚製薬（株）の協力を得て、地域の関係機関・団体等との連携を図りつつ、モデル的に徳島県において、地域密着型、住民参加型の交通安全普及啓発事業を実施した。

①徳島スマートドライバーセーフティラリー2016

内 容 徳島県内在住又は在勤・在学の運転免許保有者を対象に、3か月間にわたる無事故・無違反のコンクールを実施した。

実施状況 参加チーム数 3,803 チーム、無事故・無違反チーム 3,489 チーム (91.7%)
参加人数 14,825 人、無事故・無違反人数 14,499 人 (97.8%)

②新入社員向け自動車安全運転研修会 2016

内 容 自動車を利用する新入社員向け教育プログラムの確立を目的に、大塚製薬（株）の新入社員を対象に徳島県でモデル的に自動車安全運転研修会を実施した。

実施回数 平成 28 年 5 月 21 日から 7 月 23 日までの期間で 7 回実施

実施場所 大塚製薬徳島第二工場 駐車場、徳島県運転免許センター

参加者数 大塚製薬（株）新入社員の有志参加者 男性 20 名 女性 23 名 計 43 名

プログラム 初級コース（運転姿勢・シートベルトの重要性・狭隘路・車庫入れ）
中級コース（駐車訓練・ブルックレコード体験 他）
上級コース（路上想定運転他）

指 導 者 (一財) 日本交通安全教育普及協会、(株)ムジコ・クリエイト東京営業所、
広沢自動車学校

③高齢者自転車安全運転講習会 2016

内 容 徳島県内において高齢者の自転車乗用中の事故防止を目的に、全国に先駆けて、当協会が開発した自転車シミュレータを活用した高齢者自転車安全運転講習会を開催した。

会 場 徳島県運転免許センター ロビー・教室

平成 28 年 5 月 21 日（土） 9：30～12：00 徳島県内の高齢者 33 名

プログラム ○体験学習 「自転車シミュレータを使用した危険予測学習」

○体力診断 「歩行速度・バランス（開眼片足立ち）等」

○講 義 「自転車のルール」

○体験学習 「認知・判断力診断」

指 導 者 (一財) 日本交通安全教育普及協会

(6) 緊急時の対応に関する啓発活動の実施

日本保安炎筒工業会との連携・協力により、交通事故・二次災害等の減少に資することを目的として、発炎筒の使用方法や性能、非常時等における対処方法を普及啓発するためのポスターを 5,000 枚制作し、全国の都道府県、政令指定都市、警察本部、各高速道路（株）等に配布した。

(7) 国際協力による教育普及活動の実施

平成 28 年度は、韓国道路交通公団及び中国上海自動車学校協会視察団からの交通安全視察に対し情報・資料の提供及びアドバイスをを行った。

(8) 関係機関と連携した交通安全教育啓発活動の推進

交通安全教育の普及を目的に、下記のとおり、関係機関と連携した活動を推進した。

①シートベルト・チャイルドシート着用推進協議会の事務局

関係省庁、団体等官民一体となって国民のシートベルトとチャイルドシートの着用推進啓発活動を行っている「シートベルト・チャイルドシート着用推進協議会」の活動に協力するとともに、同協議会の事務局を担当した。

②交通安全フォーラム推進協議会の事務局

国民の交通安全意識を高揚することを目的とした交通安全フォーラム（内閣府及び開催地の県・市主催、関係省庁後援、関係団体協賛）の推進協議会の活動に協力するとともに、同協議会の事務局を担当した。

日 時 平成 28 年 10 月 27 日（木） 13:00～16:30

場 所 和歌山県民文化会館 小ホール（和歌山県和歌山市）

テ ー マ 「みんなにやさしい自転車の安全運転

～ルールを守ろう、もしもに備えよう～」

内 容 ○アトラクション 和歌山県警察音楽隊

○基調講演「自転車からつくる安全・安心・明るい社会」

元筑波大学大学院人間総合科学研究科教授 吉田 章 氏

○パネルディスカッション

吉田 章 氏（元筑波大学大学院人間総合科学研究科教授）

岸 郁子 氏（弁護士 四谷番町法律事務所）

坂部 義人 氏（和歌山県警察本部参事官兼交通企画課長）

田川 寿美 氏（歌手 和歌山市出身）

吉田 長裕 氏（大阪市立大学大学院工学研究科准教授）

参加者 約 300 名

③全国交通安全運動への参加

官民一体となって実施している「春・秋の全国交通安全運動」に協賛団体として参加・協力を行った。

④交通安全ファミリー作文コンクールの実施

警察庁及び関係団体との共催により、「我が家の交通安全」をテーマにして各家庭における交通安全に関する話し合いを進めることを通じ、国民 1 人 1 人の交通安全意識の高揚を図り、交通ルールの遵守と交通マナーの向上に資することを目的とした交通安全ファミリー作文コンクールを実施した。

平成 28 年度は、小学生 1,646 点、中学生 7,733 点、一般（高校生以上）81 点、合計 9,460 点の応募となった。

II 調査研究活動

効果的な交通安全対策、事業の企画・実施に資することを目的として、平成 28 年度は、高齢者の自転車に関する調査を実施した。

1. 高齢者の自転車利用状況調査

【調査結果 一部抜粋】

埼玉県内のシニア大学に参加した 380 名の高齢者を対象に、日頃の交通安全意識や自転車利用等についてアンケート調査を実施した。

- 普段自転車を利用している者は 58%で、その内、自転車の交通ルールを知っていると回答した者は 39%、守っていると回答した者は 32%であった。
- 自転車利用時における大人のヘルメット着用義務付けについて、「義務付けるべきである」が 12%、「義務付けるべきでない」が 23%、「わからない」が 26%であった。
- 自転車保険の加入については、42%の者が「義務付けるべき」と回答した。

2. 高齢者の自転車運転と体力及び認知・判断力との関係性調査

【調査結果 一部抜粋】

徳島県で実施した「高齢者のための自転車教室」に参加した高齢者 34 名を対象に、自転車運転と体力及び認知・判断力との関連性について調査を実施した。

- 体力及び認知・判断力が低下している層は自転車運転の能力も低下している（危険な運転をする）傾向があった。
- 体力が低下している層より、認知・判断力が低下している層のほうが、自転車の運転能力が低下している（危険な運転をする）傾向があった。

III 情報収集提供活動

主として行政や教育現場、地域や職場において交通安全教育に携わっている担当者等に対し、交通安全教育等を推進する上で有益かつ実践的な情報を提供するとともに、当協会の活動内容やタイムリーな交通安全情報等を広く国民一般に向けて発信することを目的として、下記のとおり、2 種類の活動を実施した。

1. 月刊誌「交通安全教育」の編集・刊行

交通安全に関する対策や指導方法、具体的な教育指導事例等を掲載した月刊誌「交通安全教育」を毎月編集・刊行した。

2. ホームページによる情報の発信及び収集

ホームページの積極的な活用を通して、広く交通安全教育や各種教材・教具等に関する情報を発信するとともに、双方向的に全国からの情報の収集に努めた。

IV 教材の制作・普及事業

1. 交通安全教育啓発資料・機材の開発及び普及

既存の交通安全教育啓発資料・機材について、交通事故の経年変化や道路交通法の改正等に対応して、適宜、資料・教材の改訂を行うとともに、全国の自治体、関係機関・団体等に対する訪問活動やホームページ・DM等の媒体を活用した広報活動を通して、広く周知を図り、各種の交通安全活動を効果的に進める上での有効活用を普及促進した。

平成 28 年度は、本格的な普及促進を開始した「交通安全危険予測シミュレータ（歩行者編）」に続き、「交通安全危険予測シミュレータ（自転車編）」の企画・開発に着手し、各種交通安全教室やイベントにおいて試験運用を行った。

2. 教育啓発資料の監修・指導等の実施

民間企業等が企画・制作する交通安全啓発用資料・教材に対して、要請に応じて企画・監修・指導等を行った。

V 基本財産等運用事業

当協会の健全な運営を進めるためには、安定した財政基盤が不可欠であることから、所有ビルを貸事務所及び貸店舗等として賃貸するなど、基本財産等の運用に関する事業を実施してきた。

特に、平成 28 年度は、当協会所有のビルの老朽化及びそれに伴う大規模修繕等が迫ってきていることから、これを売却し新たな収益物件を購入することなどについて、理事会及び評議員会で議論を重ねた結果、交通安全教育センタービルを売却し、新たな収益物件を購入することとした。

VI 会議の開催

以下のとおり、理事会、評議員会等を開催した。

1. 理事会

- (1) 期日 平成 28 年 6 月 2 日 (木) 14:00~15:40
会場 (一財) 日本交通安全教育普及協会「会議室」
議題 第 1 号議案 平成 27 年度事業報告書 (案) の承認について
第 2 号議案 平成 27 年度貸借対照表及び正味財産増減計算書 (案) の承認について
第 3 号議案 平成 27 年公益目的支出計画実施報告書 (案) の承認について
第 4 号議案 定時評議員会の開催 (案) について
第 5 号議案 役員候補者の評議員会への推薦 (案) について
第 6 号議案 顧問・相談役・参与の委嘱 (案) について
第 7 号議案 当ビルの利活用に関する (株) 高輪スポーツからの申出への対応 (案) について
第 8 号議案 代表理事及び執行理事の職務執行状況の報告について
- (2) 臨時理事会 (書面による決議)
期日 平成 28 年 6 月 28 日
議題 第 1 号議案 理事長、専務理事及び執行理事の選任について
第 2 号議案 事務局長の選任について
- (3) 臨時理事会
期日 平成 28 年 9 月 14 日 14:00~15:45
会場 (一財) 日本交通安全教育普及協会「会議室」
議題 第 1 号議案 基本財産の処分及び新たな収益物件の取得等 (案) について
第 2 号議案 臨時評議員会の開催 (案) について
- (4) 臨時理事会 (書面による決議)
期日 平成 28 年 12 月 15 日
議題 第 1 号議案 一般財団法人日本交通安全教育普及協会所有の土地及び建物を「不動産売買契約書」(案) に基づいて売却する件について
第 2 号議案 臨時評議員会の開催 (案) について
- (5) 期日 平成 29 年 3 月 13 日 (月) 14:00~15:45

会場	(一財) 日本交通安全教育普及協会「会議室」	
議題	第1号議案	平成29年度事業計画(案)の承認について
	第2号議案	平成29年度収支予算(案)の承認について
	第3号議案	定款の変更(案)について
	第4号議案	書面による臨時評議員会の開催について
	第5号議案	代表理事及び執行理事職務執行状況の報告について

2. 評議員会

(1) 期日 平成28年6月28日(火) 14:00~15:35

会場 (一財) 日本交通安全教育普及協会「会議室」

議題 第1号議案 平成27年度事業報告書について

第2号議案 平成27年度貸借対照表及び正味財産増減計算書の承認について

第3号議案 平成27年度公益目的支出計画実施報告書について

第4号議案 役員を選任について

第5号議案 評議員を選任について

第6号議案 当ビルの利活用に関する(株)高輪スポーツからの申出への対応について

報告 1 平成28年度事業計画について

2 平成28年度収支予算について

(2) 臨時評議員会

期日 平成28年10月5日(水) 14:00~15:50

会場 (一財) 日本交通安全教育普及協会「会議室」

議案 基本財産の処分及び新たな収益物件の取得等について

(3) 臨時評議員会

期日 平成29年1月16日(月) 14:00~15:00

会場 (一財) 日本交通安全教育普及協会「会議室」

議案 当協会所有の土地及び建物を売却する「不動産売買契約書(案)」の締結について

報告 「当協会事務所の移転先について」及び「収益物件購入に向けての検討過程について」

(4) 臨時評議員会(書面による決議)

期日 平成29年3月24日(月)

議案 当協会の定款の一部を改正する件について

3. その他

ほぼ1か月に1回の割合で、代表理事・業務執行理事・事務局による定例会議を開催し、業務の執行等について連絡協議を行った。